

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

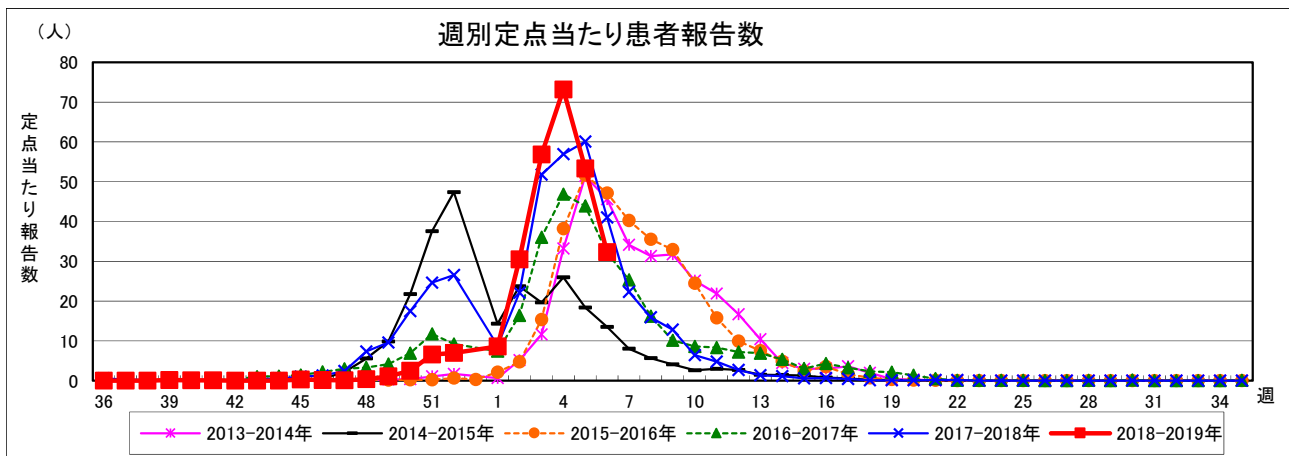
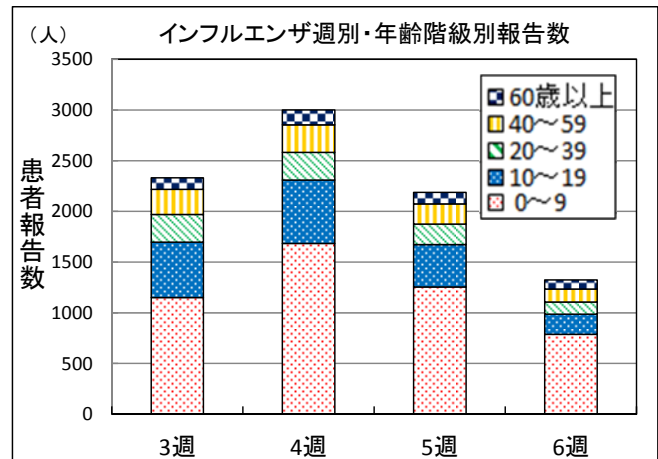
2018-2019 年シーズン 第 6 週(2 月 4 日～2 月 10 日)

1 市内のインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関(小児科 27 所、内科 14 ヶ所)からの患者報告数は 1,324 人、定点当たり報告数は先週の 53.34 人から 32.29 人と減少しました。しかし、引き続き流行警報開始基準値(定点当たり 30 人)を超え、市内で大きな流行が継続しているものとみられます。

基幹定点医療機関(1ヶ所)からインフルエンザによる入院患者の報告が 10 人(A型 10 人)ありました。

埼玉県内の定点当たり報告数は 38.56 人です。



2 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等

第 6 週は、学級閉鎖 46 学級(26 校)、学年閉鎖 2 学年(3 校)の報告がありました。

区別の報告状況(2019年第6週)

	西区	北区	大宮区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区
学級閉鎖(学校数)	4	1	3	5	1	1	1	4	3	3
学年閉鎖(学校数)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

3 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況

インフルエンザ検体のウイルス検出状況(2019年第6週)

検体採取週	検体数 (患者数)	陽性数 (患者数)	インフルエンザウイルス			
			AH1pdm09	A香港	B山形系統	Bビクトリア系統
18年第36週 ～19年第2週	17	17	7	8	0	2
2019年第3週	10	10	3	7	0	0
第4週	5	5	2	3	0	0
第5週	11	10	4	6	0	0
第6週	1	1	1	0	0	0
合計	44	43	17	24	0	2

※病原体定点の先生方には、引き続き検体採取のご協力をお願いします。

市内で直近の 4 週間(第 3 週～第 6 週)に採取された 27 検体から、A香港型が 16 件、AH1pdm09 が 10 件検出(PCR)されました。

国立感染症研究所ウイルス分離・検出速報(2 月 12 日作成版)によれば、第 2 週～第 5 週に全国で検出されたインフルエンザウイルスは、A香港型が 372 件(56.2%)、AH1pdm09 が 282 件(42.6%)、B型が 8 件(1.2%)でした。

★「さいたま市インフルエンザ週報」は、原則として患者報告が定点当たり 1 人を超えた際に作成しています。

★平成 31 年 2 月 12 日 13 時現在の速報です。後日データの修正をすることがあります。